

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：（A組：古屋）（B組：榎本）（C組：古屋）（D組：古屋）（E組：榎本）（F組：榎本）

使用教科書：（新編 現代の国語 東京書籍）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したり力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	・単元「こそめスープ」 村田 沙耶香 [知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア, イ	・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせることができる。 ・「新編 現代の国語」、「常用漢字クリア」、ノート、プリント、「新国語便覧」			○	【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】	○	○	○	5
	・単元「ルリボシカミキリの青」福岡 伸一 [知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア	・筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。			○	【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思判表】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて				5
	定期考査						○	○		1
	・単元「気になるニュースについて話そう」 [知技] (1)イ [思判表] 話すこと・聞くこと(1)ア, イ 話すこと・聞くこと(2)ア	・情報を整理し、内容や構成に注意して話す。 ・「新編 現代の国語」、「常用漢字クリア」、ノート、プリント、「新国語便覧」		○		【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いを使っている。 【思判表】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【主】積極的に情報の収集や整理を行い、理解しやすい内容構成や展開を工夫して、自分の考えを発表しようとしている。	○	○	○	6
	・単元「水の東西」 山崎 正和 [知技] (1)ア, ウ, エ, オ [思判表] 読むこと(1)ア	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。 ・要旨をまとめ、文章の要点を把握する指導事項 ・「新編 現代の国語」、「常用漢字クリア」、ノート、プリント、「新国語便覧」			○	【知識及び技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したり、自分の考えを深めている。 【主】粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し、学習課題に沿って実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合おうとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1	

